

7月13日(土) 六甲山 夏の風物詩「氷室開き」を 自然体感展望台 六甲枝垂れで開催！

六甲山観光株式会社(本社：神戸市灘区 社長：寺西公彦)が六甲山上で運営する六甲ガーデンテラスエリア内の「自然体感展望台 六甲枝垂れ(建築家：三分一博志)」では、冬に氷を貯蔵した「氷室(ひむろ)」の扉を開放し、六甲山上に吹く風を取り入れる「氷室開き」を7月13日(土)に行います。展望台内部の「風室(ふうしつ)」では、自然の力だけで神戸市街地と比べてマイナス約10度の涼が楽しめる「冷風体験」を開始します。

例年、1月20日頃の「大寒の日」に六甲枝垂れの「氷棚(ひょうだな)」にできた氷を切り出しておりましたが、今年は暖冬の影響で結氷不良が続いた為、近隣にある六甲山スノーパークのゲレンデの人工雪をシーズン終了後の3月4日(月)に切り出して、展望台内部にある「氷室(ひむろ)」に貯蔵しました。5月29日(水)に確認したところ、貯蔵した人工雪が7割程残っていた為、人工雪が溶けて無くなるまで冷風体験を実施いたします。役目を終えたゲレンデを再活用したこのエコな取り組みによって、今年の夏も皆様に「涼」をお届けしたいと思っております。

■ 5組限定！お客様向け「氷室開き」見学会

【開催日時】 2024年7月13日(土) 9～10時

【入場料】 **無料** ※車でお越しの場合、別途駐車料金1,000円が必要です。

【定員】 5組(1組4名様まで) ※申込先着順で1組ずつご案内します。

【申込方法】 **7月5日(金)14時から電話(078-894-2281)にて受付開始。**
定員になり次第締め切らせていただきますので、ご了承ください。
また、7月11日(木)は定休日のため、電話受付しておりません。

【備考】 普段は非公開の氷室内部を見学できる、年に1度の貴重な機会です。また、見学後はSNSで話題のイベント「パワーワード展」も無料で鑑賞いただけます。是非、この機会にお越しください。



3月4日(月)時点の
氷室内部の様子

◆リリースに関するお問い合わせ先

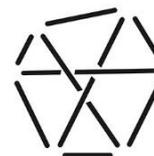
六甲山観光株式会社 ガーデンテラス部
TEL:078-894-2281 / FAX:078-891-1171
神戸市灘区六甲山町五介山1877-9

◆自然体感展望台 六甲枝垂れ 営業概要

【営業時間】 10:00～21:00(20:30受付終了)
※7月18日(木)までは木曜定休。7月19日(金)～11月24日(日)は無休。
11月25日(月)以降の営業情報はHPでご確認ください。
Web ページ(<https://www.rokkosan.com/gt/operation/>)

【入場料】 大人(中学生以上) 1,000円 / 小人(4歳～小学生) 500円

「六甲枝垂れ」で検索！



六甲枝垂れ
自然体感展望台



詳しくはコチラ

■ 「氷の切り出し・氷室開き・冷風体験」とは

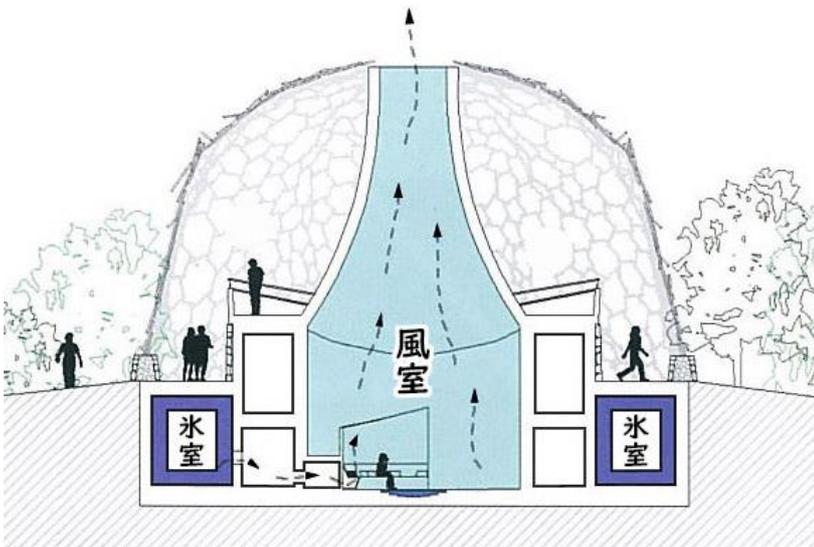
「氷」は冷蔵庫が広く普及するまで、大変貴重なものでした。六甲山では、山上の溜め池に厚く張った天然の氷を冬の間に採取・貯蔵し、春から夏にかけて麓まで運び、神戸や大阪の市街地で売っていたという歴史があります。氷を運んでいた道は「アイスロード」という名称で、現在もハイキング道として残っています。

「自然体感展望台 六甲枝垂れ」では、この歴史をヒントに考え出された自然循環の仕組みの一つ「氷の切り出し」を毎年1月20日頃の「大寒の日」に行ってきました。「氷の切り出し」は、展望台東側に位置する「氷棚(ひょうだな)」で雨水を溜めて氷を作り、チェーンソーを使って切り出します。今年は暖冬の影響で結氷不良が続いた為、中止となりましたが、近隣にある六甲山スノーパークのゲレンデの人工雪を切り出して、展望台内部にある「氷室(ひむろ)」に貯蔵しました。



3月4日(月)に行った「ゲレンデの切り出し」の様子

毎年、六甲枝垂れの開業日である7月13日になると、氷を貯蔵した「氷室」の扉を開放し、六甲山上に吹く風を取り込む「氷室開き」を行います。氷室を通った風は冷気となり、展望台内部の「風室(ふうしつ)」にある椅子のヒジ置き部分から風室内へ取り込まれます。風室内は神戸市街地と比べて約10度気温が低く、ヒノキの香りと共にひんやりと心地良い空間が広がります。この電力を一切使用せずに、自然の力だけで涼が楽しめる体験が「冷風体験」です。



六甲山上に吹く風を「氷室」へ取り込み、「風室」に循環させる。



椅子のヒジ置き部分から冷風が取り込まれる。



「風室」の天井部分から空気が排出される。